

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【公開番号】特開2010-101960(P2010-101960A)  
【公開日】平成22年5月6日(2010.5.6)  
【年通号数】公開・登録公報2010-018  
【出願番号】特願2008-270993(P2008-270993)  
【国際特許分類】

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/00 3 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

色材をプリント媒体上に付着させることで画像を形成する画像形成装置において、  
前記画像形成装置の出力濃度階調特性を測定する測定手段と、  
ハーフトーン画像のドットパターンと前記出力濃度階調特性に基づいて、色材の消費量を算出する算出手段と、  
を備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記算出手段は、さらに多値の濃度画像にも基づいて色材の消費量を算出することを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記算出手段は、ドットの色材消費量を、隣接ドットパターンを判定して算出することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記算出手段は、隣接ドットパターンに応じた注目画素の色材消費量を出力濃度階調特性に応じて算出することを特徴とする請求項 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記算出手段は、前記出力濃度階調特性としてドットパターンを繰り返したパッチ画像を画像形成装置から出力して濃度を測定した値を取得することを特徴とする請求項 4 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記算出手段は、前記出力濃度階調特性として低濃度から高濃度までのグラデーション画像を画像形成装置から出力して濃度階調を測定した値を取得することを特徴とする請求項 4 に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

色材をプリント媒体上に付着させることで画像を形成する画像形成方法において、  
前記画像形成方法の出力濃度階調特性を測定する測定ステップと、  
ハーフトーン画像のドットパターンと前記出力濃度階調特性に基づいて、色材の消費量を算出する算出ステップと、  
を含むことを特徴とする画像形成方法。

【請求項 8】

コンピュータに、請求項 7 に記載の方法を実行させるためのプログラム。